



日刊労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話{(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222) 7207番}

No.

94.9.12 4057

たたかう労働運動の新しい潮流めざし 労働者集会へ全力結集を

自社連立の村山 政権を許すな！

九月三日、社会党臨時大会が開催された。村山が首相に就いてから初めての大会である。

この社会党臨時大会は、野次と怒号のなか開催された。社会党が自社連立政権について以降、

「自衛隊合憲」「安保容認」「日の丸・君が代を国旗、国家として認めること」という基本路線の転換・転向に全国から集まつた

社会党員の怒り・危惧が集中した。来賓として大会を訪れた連合山岸会長は、大会会場前に集まつた社会党員の抗議の前に、「来賓の命を保障して欲しい」などという異例の発言を行つた。

連合が旧連立・新生党政権への復帰を必至で画策したこと、また、社会党の路線転換・転換を迫り続けたことへの怒りがあつた。

また社会党の転向路線反対に関する修正動議は、約四割の賛成があったものの執行部が多数

決採択としたため否決され、「自衛隊合憲」などの転換・転向方針は、議決されたのである。

われわれは、この転向方針に断固抗議しなければならない。今まで社会党に期待をかけ、いざ選挙となれば微力ではある

が協力を惜しまなかつたのは、

九・一八集会の開催まで、あとは、すべての力をふりしほって九・一八集会への結集をかちとらなければならぬ。

いまほど労働者の利益を代表する党が必要とされている時はな い！

では労働者の現実はどうであ

ろうか。長期不況を理由として資本の労働者に対する攻撃は、

首切り・出向・合理化など徹底的に行われている。失業者は、

七月の統計で三%となり、戦後最悪となつてゐる。円高も伴い

、資本は「安い労働力を求めて

「中国・東南アジアへと工場移転を行い、産業の空洞化は一層深刻化している。政府の進める規制緩和は二〇〇万の失業者が

出ると言われる。かつてない大失業の時代を迎えてゐるのである。資本・支配者階級との対立は激化し、そしてますます激化

しようとしている。

この現実は、労働者の利益を

いほど高まつてゐることを示して

いる。

九・一八集会は、こうした労働者の声を代表して動労千葉が責任団体となり、全国に呼びかけた。

しかし、この臨大で社会党は、労働者階級の利益ではなく支配者・資本家の利益にくみする党へと転向したのだ。

社会党がまがりなりにも労働者の利益を代表する政策を主張していたからである。

しかし、この臨大で社会党は、労働者階級の利益ではなく支配し党ではなくなると思ひます。少なくとも、五〇年もかけてやつてきた党が、護憲・平和といふ路線を変えるということは、もう我慢ができない。私は、もう我慢ができない。

新しい運動体をつくるべきだと考へています。」として、新たな闘う勢力の結集を訴えている。(要旨・日刊四〇二八既報)。

また、記念講演を予定している元総評事務局長・岩井章氏も國労大会において、「社会党は、方針転換を進めていけば社会

体・個人より九・一八集会への賛同署名が集まつた。八月上旬からひと月、賛同署名は倍増して

いる。これは九・一八集会への期待が日に日に高まつてゐる証左である。

すべての組合員のみなさん！本当に労働者の利益を代表する労働者勢力を創りあげるために今までそ全力をあげよう！

「闘う労働運動の新しい潮流をめざす九・一八労働者集会」へ全力で結集しよう！

すべての労働者は

9・18集会に集まろう

★指定列車
千葉駅発⑦快速 11時39分

東京都
労働福祉社会館



反対運動を立ち上げ！ 反戦・反核を担う労働運動

二二四の賛同署名が寄せられる

九月一〇日現在、二二四の固